

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
生涯発達論		BNSB2L14	20301	1後	1(15)	必修
担当教員	千葉 陽子	実務歴	有	助産師として病院に6年勤務		
担当教員	堀井 理司	実務歴	有	看護師として病院に3年勤務		
担当教員	井上 深幸	実務歴	有	看護師として病院/診療所に16年勤務		
概要	<p>発達とは身体的・知的・情緒的・社会的等の諸相が互いに機能的に関連しあい、広い統一体あるいは、全体としてダイナミックに変化していく過程である。個人は、人間の一生という全行程、つまり、乳幼児期、学童期、思春期、青年期、成人期、成熟期、成人後期(老年期)において発達する。このような生涯発達の観点から人の一生を概観し、人間理解の基礎を学ぶ。</p>					
学修目標	<p>1) 人間の成長発達に関わる定義や理論、定説について説明できる。 2) 発達段階各期の身体的・心理的・社会的特徴を説明できる。 3) 看護職(対人援助職)に必要な人間観について述べるができる。</p>					
DPとの対応	知をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	○
回	学修内容			予習・復習内容		
1	序説: 人間発達に関する諸理論や視点・課題(千葉)			①p.2~p.17を講義前後に読むこと		
2	乳児期(0~1歳)の発達と課題(千葉)			①p.20~p.37を講義前後に読むこと		
3	幼児期(1~6歳)の発達と課題(堀井)			①p.40~p.73を講義前後に読むこと		
4	学童期(6~12歳)・思春期(12~18歳)の発達と課題(堀井)			①p.76~p.107を講義前後に読むこと		
5	青年期(18~22歳)の発達と課題(千葉)			①p.110~p.125を講義前後に読むこと		
6	成人期(22~50歳)の発達と課題(千葉)			①p.128~p.159を講義前後に読むこと		
7	成熟期(50~65歳)の発達と課題(井上)			①p.162~p.176を講義前後に読むこと		
8	成人後期(65歳~)の発達と課題(井上)			①p.178~p.193を講義前後に読むこと		
使用テキスト	①服部祥子(2018)『生涯人間発達論』第2版 医学書院。(最新刷)					
参考図書	適宜紹介する。					
成績評価基準	定期試験 100%					